

担当: 内谷 元
津和野町役場つわの暮らし推進課
電話 0856-74-0092
FAX 0856-74-0002

〒 699-5292
津和野町役場
電話 0856-74-0021
FAX 0856-74-0002

津和野町役場

プレスリリース

津和野町内にコールセンター設立、新たに 30 名の雇用を目指す

島根県津和野町(町長・下森博之(したもり ひろゆき))は、首都圏を中心に ISO コンサルティングなどを手掛ける株式会社バリューアップ ジャパン(2003 年設立、代表・小林達司(こばやし たつじ)、以下「バリューアップ ジャパン」)から、平成 27 年 9 月中旬を目途に島根県津和野町にコールセンター設立の意向を受け、設立に向けて協力する旨を同社に伝えた。

コールセンターの設立には、コールセンター向けコンサルティング会社である株式会社 Me-Rise の協力も得るとのこと。

センターは、道の駅シルクウェイにちはら(津和野町池村)敷地内ある町有施設・高津川清流館の一室を利用する予定。センターの規模は従業員 30 名、積極的な地元からの雇用を受け入れながら、都市部を中心に増加している IT ヘルプデスクを中心としたインバウンド業務の獲得を目指す。

コールセンターの設立にあたっては、新会社を津和野町内で設立し、運営をしていく考え。

津和野町への進出の経過については、バリューアップ ジャパン代表小林氏の地方経済の衰退の若年層の流出といった問題意識と、そうした条件不利地での新しいビジネスモデルの構築、将来的には豊かな自然環境を活かして IT 人材の教育と都市部での疲弊した IT エンジニアの再教育を目指したい構想の中で、物件の萩・石見空港からのアクセスの良さ、立地環境、施設の状態の良さなどを考慮し、本町への進出に至ったとのこと。

津和野町では、今回のセンター設立の意向を受け、地元スタッフの確保、施設の貸出と業務形態に併せた改修や通信環境の整備などを行う予定。

高津川清流館は平成 12 年年 3 月 20 日、合併前の旧日原町において「シルク染め織り館」として総工費約 3 億円をかけて竣工。当初は町の特産品である絹製品の織り物や染め物の技術習得ができる研修施設として利用されていた。

平成 21 年 4 月から施設利用は一時休止され、平成 25 年 4 月から建物の一部を児童発達支援などの事業を行う事業者へ貸し出していたが、平成 27 年 3 月をもって事業者が撤退していた。

20015 年 6 月 5 日 11:00 発表